

氏名 山口 実

マニフェスト・政策



1. 理念

政治家を目指した理由
昨年の夏は災害酷暑で熱中症で緊急搬送の人が例年の倍以上でした。2度にわたって区にエアコン設置と電気代の助成を求めました。しかし区は全く聞き入れませんでした。荒川区は65歳以上の世帯、障がい者、就学前の児童がいる世帯にエアコン設置助成をしました。区民の目線にたつやさしい区政を実現するため決意しました。

2. ビジョン

地域のありたい姿
池袋駅周辺の大規模開発が次々と進められている、その巨大な建物の陰で、豊島区民のくらしが疲弊してはいないか？山口のるはそこそこ向き合い、目と耳を傾け、区民のいのちとくらしをしっかりと支える、子どもの健やかな、お年寄りの穏やかな、働くみなさんの元気な、すべての区民の笑顔が溢れる街としまを目指します。

解決したい課題
国民健康保険、介護保険、高齢者福祉、生活保護、子育て支援、それぞれの分野で、子育て世帯、高齢世帯、障害のある方の世帯、生活困窮世帯、そうした本来行政の役割を発揮すべきところに手が届いていない。税金の使い方を暮らし優先の区政に転換したい。

3. 解決するための重要政策（優先順位の高い順に3つまで）

政策 1	政策分野：芸術文化振興／観光振興 高齢者・障害者・就学前児童世帯へのクーラーの設置費用の補助制度を創設します。 国保料を引き下げ、子どもの均等割り減免、18未満医療費の無料化をめざします。 区独自の予算で介護制度を改善拡充し、介護職の待遇改善をはかります。 公営住宅の建設促進と家賃補助制度の拡充をめざします。
	政策分野：少子化対策／子育て支援／女性政策／教育政策／防災対策 隠れ待機児の解消・公立保育園と園庭のある保育園の増設、保育労働者の待遇改善をはかります。 学童保育の充実のため、施設と職員を増します。全廃された児童館の復活をはかります。小中学校への補助教員・事務職を増やして、35人学級の実現で、教員の労働過重の軽減をはかります。平和学習などを積極的に推進します。
	政策分野：高齢者対策／防災対策 観光用電気自動車10台（4億4千万円）、池袋西公園のアーチ形照明（10億円）などの大型開発優先から、公契約条例の制定・個別商店活性化事業創設、多様性を認め合う多文化共生の推進、コミュニティーバス運行、地域集会所の活用促進など、区民くらしの土台から経済活性化を図ります。最低賃金の引上げを強く要望し、消費を冷やし、物価高を招く消費税の増税には反対していきます。

氏名 高野 之夫

マニフェスト・政策



1. 理念

政治家を目指した理由
生まれ育ったこの池袋で親の稼業である古書店を引継ぎ高売のかたわら、地域活動を始め、商店街や青色申告会、政党の青年部等の活動に参加いたしました。この街に強い愛情を持ちこの豊島区をもっと良くしたい、誇れる街にしたいと思いつから、区議、都議そして区長を目指して私の人生の大部分を政治道に捧げてまいりました。

2. ビジョン

地域のありたい姿
としま新時代へ！！
次の世代に有形無形の価値を伝えるレガシーとして、H a r e z a池袋をはじめ様々なプロジェクトが運動し文化によってダイナミックにエキサイティングな街が生まれ変わります。世界に誇る安全・安心な街、災害から人を守る強い街、世界に向けて文化を発信する街を実現し、次世代へつなげてまいります。

解決したい課題
・待機児童ゼロを3年継続しており、今後も量の確保とともに保育の質の向上が必要。
・独居高齢者が多く、生活の質の低下等に繋がる社会的孤立を軽減する仕組み作りが必要。
・来街者増、区人口増、高齢化の進展によりさらに安全安心なまちづくりが必要。
・空き家率が最も高く、有効活用し地域貢献に繋げていく取組みが必要。

3. 解決するための重要政策（優先順位の高い順に3つまで）

政策 1	政策分野：芸術文化振興／観光振興 国際アート・カルチャー都市構想のもと、国家的事業「東アジア文化都市」開催を成功させ「としま新時代」の扉を開く！ ▼開業記念5事業を始め22のリーディング・プロジェクトが2020年には完成 記念5事業 H a r e z a池袋、4公園整備、真っ赤な電気バス、W E R O A D再生、マンガの聖地としまミュージアム
	政策分野：少子化対策／子育て支援／女性政策／教育政策／防災対策 清減可能性都市を脱却し、子育て世代・女性層から選ばれるまちを実現！ 未来を見据え、次世代の子どもたちを応援する学びの環境を整備！ ▼地域のサポート環境充実で共働き子育てしやすいまちを実現 ▼待機児童ゼロ3年連続継続とその先の保育の質向上 ▼放課後対策・防災拠点・地域交流の場として学校づくりをまちづくりへ
	政策分野：高齢者対策／防災対策 日本一の高齢者にやさしいまち実現に向け、「オールとしま」の体制で「としま総合戦略」を推進！ ▼一人暮らしに焦点をあてた「社会とつながる30のアプローチ」を進め、高齢者の「社会的孤立」を防止 ▼「セーフコミュニティ」の資源を最大限活用し、全国初の挑戦となる「エイジフレンドリーシティ」との一体的な取り組みへ